

第 27 回 刈谷市都市交通協議会 議事概要

■日 時：令和 5 年 12 月 11 日（月）9:30～11:30

■場 所：刈谷市役所 7 階大会議室

■議 題：

1. 刈谷市地域公共交通計画について
2. デマンド交通「チョイソコかりや」実証実験について
3. 国土交通省 令和 5 年度共創モデル実証プロジェクト「刈谷放課後子育て MaaS プロジェクト」について



■出席者：

委員号数	所属（役職）	氏 名	出欠
第 1 号委員	中部大学 工学部 都市建設工学科 教授	磯部 友彦	○
第 1 号委員	大同大学 工学部 建築学科 土木・環境専攻 准教授	樋口 恵一	○
第 2 号委員	トヨタ紡織(株) 総務部 総務室長	亀井 隆	○
第 2 号委員	トヨタ車体(株) 総務部 総務室長	廣鹿 慎一	○
第 3 号委員	名古屋鉄道(株) 地域連携部 交通サービス担当課長	花村 元気	代理 (夫馬康昌)
第 4 号委員	(社) 愛知県トラック協会西三支部刈谷部会 部会長	出口 達也	○
第 4 号委員	愛知県タクシー協会 副会長	横山 宜幸	○
第 4 号委員	(公) 愛知県バス協会 専務理事	小林 裕之	○
第 4 号委員 兼第 5 号委員	名鉄バス(株) 運輸本部 首席 交通企画官	大野 淳	代理 (上原真人)
第 6 号委員	自治連合会 副会長	亀井 鹿雄	○
第 6 号委員	女性の会連絡協議会 書記	森口 靖子	○
第 6 号委員	刈谷商工会議所 専務理事	岡田 行永	○
第 6 号委員	一般社団法人 刈谷青年会議所 理事長	高橋 正典	○
第 6 号委員	かりや消費者生活学校 運営委員長	作田 美乃利	○
第 7 号委員	中部運輸局 愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	宮川 高彰	○
第 8 号委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	永井 隆拓	○
第 9 号委員	刈谷警察署 交通課長	武田 謙次	○
第 10 号委員	愛知県 知立建設事務所 企画調整監	河合 敦	欠席
第 10 号委員	刈谷市建設部長	齊藤 昭久	○
第 11 号委員	愛知県 都市・交通局 交通対策課長	山田 浩之	代理 (江崎嘉彦)
第 11 号委員	愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課長	伊藤 慎悟	代理 (真田和佳)
第 12 号委員	刈谷市都市政策部長	竹内 健人	○
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長	後藤 直紀	○
オブザーバー	刈谷市企画財政部長	村口 文希	代理 (高橋盟)
オブザーバー	刈谷市産業環境部長	伊藤 雅人	○

(事務局)：都市政策部都市交通課 豊永課長、近藤課長補佐、内藤次世代モビリティ推進係長、
伊藤公共交通係長、竹林主査、岡田主事

企画財政部企画政策課 三浦みらい共創係長、荒井主任主査

(事務局補助)：株式会社オオバ名古屋支店 竹内、大矢

■意見概要（発言順）：

議題 1. 刈谷市地域公共交通計画について

	主な意見	回答
1	<p>・資料2のP.75より各施策を説明しているが、写真が抜けた状態となっている。今後の進め方を教えてほしい。【樋口副会長】</p>	<p>・各施策の写真については素材を収集中であり、イラストの作成も検討している。必要に応じて関係機関と個別に調整させていただきたい。【事務局】</p> <p>・計画書の内容は本日の資料をベースとするが、表紙と裏表紙はイラストの作成を含めてデザインを整えていきたい。【事務局】</p> <p>・概要版についても作成を予定しており、市民の方々にとってわかりやすい内容となるよう作成を進める。【事務局】</p> <p>・3月の議会報告までには最終版を仕上げることがあるため、本日の協議会にて計画書の内容についてご承認いただき、今後はデザイン等について詳細を詰めていければと思う。【事務局】</p>
2	<p>・ご説明いただいた進め方で良いのかを、委員の皆様を確認する必要がある。また、概要版の内容や構成は、委員の皆様にご確認いただく必要はないか。【樋口副会長】</p>	<p>・計画書本編と概要版で異なる内容を記載することはないため、概要版の内容や構成については、会長や副会長と調整しながら作成を進めたい。【事務局】</p> <p>・本議題の承認の条件となる事項のため、委員の皆様の確認を取る。【磯部会長】</p>
3	<p>・本議題について、協議会としての承認の是非を確認する。承認の条件として、計画書本編の写真やイラストの確認と、概要版の作成については、事務局が私や樋口副会長と調整を図ることを条件とする。【磯部会長】</p>	<p>・異議なし【全員】</p> <p>・条件付きではあるが、全会一致で承認とさせていただきます。【磯部会長】</p>

報告案件 1. デマンド交通「チョイソコかりや」実証実験について

	主な意見	回答
4	<p>・この実証実験において、登録者数や乗車人数等の目標値は設定しているのか。また、運行開始後の感触についてお伺いしたい。【横山委員】</p> <p>・他の中学校区におけるチョイソコ導入の見通し、実証実験の目標値、チョイソコ運行開始後の利用状況、の3点についてのご質問だと思う。【磯部会長】</p>	<p>・目標値については、実証実験期間中の目標値として、一か月当たりののべ利用者300人を設定している。【事務局】</p> <p>・チョイソコ運行開始後の利用状況については、事務局としては良い滑り出しであると考えている。説明会では、こういった交通手段が欲しかったとのご意見もいただいております。現在の利用状況は、9日間で64の方々にご利用いただいている。【事務局】</p> <p>・実証実験として北部地域に限定して運行</p>

		しているが、他の地域でも実施してほしいとお声はいただいている。地域公共交通計画の中で、幹線交通や生活交通の各移動手段の位置づけや、それぞれの役割分担について整理しているので、本実証実験を踏まえつつ、今後各地域と意見交換させていただきたい。【事務局】
5	・現在の利用者が64人とのことであったが、インターネットと電話の予約方法の内訳を教えてください。【横山委員】	・詳細は確認中だが、ほとんどの予約が電話での予約となっている。【事務局】
6	・タクシー協会としても、チョイソコの実証実験に協力したいと考える中で、令和5年8月よりプライバシーの観点から、タクシー車内に乗務員証として乗務員氏名を掲載する必要がなくなった。市より許可をいただければ、その空いたスペースにチョイソコの実施期間や実施地区等の広告を掲載できないかと考えている。【横山委員】	・地域公共交通計画の中で、「市民・事業者・行政が共に創り支え合う持続可能な公共交通」を目標の1つとして掲げの中で、大変貴重なご意見をいただいたと感じている。具体的な掲載内容等については別途調整が必要となるため、またご相談させていただきたい。【事務局】
7	・乗務員証に乗務員氏名の掲載の必要がなくなったとお話があったが、補足説明をいただきたい。【磯部会長】	・これまでは乗務員証として、タクシーの助手席に会社名や乗務員の氏名を掲載いただいていたが、個人情報の取り扱いの観点で、氏名等の記載をやめることとなった。この措置はバスでも同様の対応となる。【宮川委員】
8	・チョイソコに関して2点質問させていただきたい。1点目は、目的地方向の相違等により予約が不成立となるケースが発生していないか。2点目は、将来的な他地域へのチョイソコ導入の検討を見据えて、乗り継ぎ状況や他の交通手段への影響等の検証を、今後どのように進めていく予定なのか教えていただきたい。【宮川委員】	・1点目の予約不成立の状況については、開始した現状ではデータを整理できていないため、次回以降の協議会にてご報告させていただきたい。【事務局】 ・2点目の乗り継ぎ状況や他の交通手段の影響検証については、今後、チョイソコの会員向けにアンケート調査の実施を予定しており、チョイソコ利用前の利用交通手段等を質問できればと考えている。具体的な質問項目等については、今後ご相談させていただきたい。【事務局】

報告案件2. 国土交通省 令和5年度共創モデル実証プロジェクト「刈谷放課後子育て MaaS プロジェクト」について

	主な意見	回答
9	・本事業の画期的なポイントは、何名かの子供がタクシーに相乗りし、ドライバーが専用のアプリを通じて親に送り迎えの状況を共有する点にあり、このような子供の安全性に係る部分について、DXを活用しながらスマートに取り組んでいく。【横	・住民のニーズに対して交通側からサービスを提供する、素晴らしい取組であるため、今後の発展にも期待したい。【樋口副会長】

	<p>山委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題としては、今後有料で実施する場合、利用料金の決済を誰がどのようにするのかを考える必要がある。この対策として、キャッシュレス端末の活用が考えられるが、今回その実験は実施しない。【横山委員】 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・この取組が「MaaS」ということであれば、「S（サービス）」は習い事が該当すると思うが、「M（モビリティ）」はタクシーだけではなく鉄道やバスとの連携も含めてご検討いただきたい。【樋口副会長】 ・将来的には料金等のハードルもあると思うが、今後の展望があれば教えていただきたい。【樋口副会長】 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業ではメインとなる対象者が子供であり、公共交通に1人で乗れないことも想定されたため、安全性を確保するためにタクシーのみを活用した事業としている。【事務局】 ・今後、本事業の社会実装を目指す中で、タクシー、バス、デマンド交通等との連携を図るようにしたいについても検討していく。【事務局】
11	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業のタクシー車両は、通常のタクシー車両か、それともチョイソコのような大型の車両か、どういった車両を活用されるのか。【作田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常のタクシーをそのまま活用しており、専用のGPSを記載し子供の位置情報を管理している。【事務局】
12	<ul style="list-style-type: none"> ・相乗りが可能とのことだが、その料金については将来的にどのように想定されているか。【作田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な料金は非常に難しい問題であると考えている。今回は無料で実施しているが、アンケート調査等より利用者のニーズを把握し、より良い形を模索していきたい。【事務局】 ・タクシーだけでは料金が高くなってしまいうため、相乗りによる1人あたりの負担額の軽減や、教育・交通拠点にて提供する教育プログラムの受講料も含めた料金体系を検討していきたい。【事務局】 ・費用負担は多様な方法を考える必要がある。本事業はスマートシティ推進の一環となるため、様々な意味でのスマート化となっていけばよい。【磯部会長】
13	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市スマートシティ推進協議会に、刈谷豊田総合病院等の病院系の事業者が参画している。交通の分野としても病院への移動需要は高いため、病院と地域をどのように公共交通で繋いでいくのかを考えることは、次年度より具体的な施策を検討する際に、大切な視点となる。【樋口副会長】 ・交通分野として、スマートシティの取組とも連携できると良いと思うが、現時点での取組の情報交換から実施していきたい。【樋口副会長】 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はAIカメラを用いたバスのOD調査に取り組んでいる。調査結果はまだ整理できていないが、11～12月に調査を実施し、乗車人数と降車人数を自動でカウントする実験をしている。【事務局】 ・スマートシティの取組として、今年度は病院と交通の関係に関する具体的な取組はないが、昨年事例では「刈谷スマートウェルネスプロジェクト」として、刈谷豊田総合病院を中心に様々な事業を実施した。【事務局】 ・スマートシティの取組は交通の分野にも深くかかわってくるため、連携を取りながら取組を進めていきたい。【事務局】

	<ul style="list-style-type: none"> ・AIカメラを用いたOD調査は、現状は乗車人数と降車人数のカウントまでしかできておらず、個人の識別まではできていない。将来的には個人を識別し、誰がどこで乗降したかを調査できるようにしていきたい。【事務局】 ・顔の情報は個人情報となるため配慮は必要となるが、将来的な技術発展に期待したい。【磯部会長】
--	--

その他

	主な意見	回答・対応方針
14	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は地域公共交通計画に基づき、各種施策を検討していくが、かりまるの再編も含めて検討を進めていきたい。【事務局】 ・かりまるの再編に向けては、地域の方々からのご意見を反映する必要があるため、昨年度実施した地域別の意見交換会を継続的に実施したいと考えており、年明けの2024年2月以降に開催を予定している。【事務局】 	
15	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、ライドシェアの議論が盛り上がっているが、ライドシェアには乗客の安全性への配慮が不足していると思う。【横山委員】 ・公共交通のことを議論するうえでは、便利であれば良いという視点ではなく、乗客の安全を前提として議論を進める必要があると思う。【横山委員】 ・現在でも自家用有償旅客運送が行われているケースはあるが、障がい者や要介護者に限定したサービスとなっており、しっかりと乗務員への安全教育が行われている。【横山委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスやタクシーは安全安心といった側面で優れているということと、ライドシェアの議論は慎重に行うべきであるということだと思う。【磯部会長】 ・ライドシェアについては国土交通省としても慎重な議論が必要であると考えており、少なくとも無条件に解禁することはない。緑ナンバーの車両は、安全管理を実施するために必要な費用を踏まえ国の方で運賃を決定しており、利用者にご負担をお願いするシステムとなっている。【宮川委員】 ・自家用有償運送については、バスやタクシーだけでは対応できないサービス分野や、そもそもバスやタクシーが運行していない地域に対して、自家用車を活用して対処するとの考え方である。この場合にも、緑ナンバーと同レベルの安全対策や保険を確保する仕組みとなっている。【宮川委員】 ・地域公共交通計画の目標3施策③「市民・事業者と共に創る地域内交通の導入検討」に向けた、安全性に関する非常に重要なご示唆をいただいたと思っている。【樋口副会長】

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・この議論に併せて大切な視点は、目標3施策⑤「バス・タクシーの乗務員確保の支援」がある。先程、ライドシェアに関する情報提供をいただいたが、この議論と併せてタクシー乗務員の条件緩和も検討が進められている。【樋口副会長】・今後は安全性の確保を前提としながら、タクシー乗務員も確保しつつ、市民と連携し地域内での移動支援を推進できるような、刈谷市らしい施策を考えていきたい。【樋口副会長】・市内の公共交通の状況を整理する中で、市内のすべての交通事業者の皆様にご尽力いただきながら、各公共交通を運行いただいていると感じている。【事務局】・今後、地域の中に入りながら住民の方々のニーズを探りつつ、バスやタクシーの乗務員確保等の各課題の解決に向けて、安全性を確保しつつどのような施策が実施できるのか、委員の皆様とご相談しながら考えていきたい。【事務局】 |
|--|--|